

中と一歌仙ハ、要合の判ふあの文をひき
 きて中と事も多し一徳れともけ文世一
 海と一と一て人用いされハ汾河一
 一篋より呉なる一と云く六十餘州のうち
 今けふこの海と一稀なりとそ予亥年
 當國の風土記を尋ねむれとも都ハ志ら
 ず鄙もそ書の名をうに志る人海れお
 まふ古れ事記を考知る一と便なり一國中
 をよりて著く古人一譯求む一と志られ
 ともふ幸に一て祝威をもちられ故舊とを

地も何く踏れさる男なればそ志をとけ
 傳へん一白雲の所となきりや一り
 芳泉の香となりて轡ゆれたるをそと
 は深山の朽木の倒れ一に回一り
 配國の杉年見候一半は國史は符合き
 を集めて十巻と一山羽國風土記と題
 す古語曰智者も千慮をれ一失ありと
 そ我や愚者も千慮ハる慮ともて誤る
 へ一是を増換一あひけふの風土記編集
 の人あゝ吾流朦朧を披て千歳の所と